

組織名	さがみはら都市みらい研究所
-----	---------------

1 組織概要

所在地	〒252-5277 神奈川県相模原市中央区中央2-11-15
TEL	042-769-9224
FAX	042-754-2280
URL	http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/seisaku/020088.html
e-mail	surv@city.sagamihara.kanagawa.jp
設立	2003年4月1日
設置都市等	神奈川県相模原市
代表者	齋藤憲司(所長／広域行政課長)

2 組織動向

(1)沿革	
設置経緯	中核市への移行を契機に、地方分権時代の自己決定・自己責任に基づく自治体運営をより一層進めるために、長期的ビジョンに立った、先駆的な都市戦略を推進する組織として設置された。
見直しの動向	—
役割(2011年時点)	○長期的ビジョンに立った、先駆的な都市戦略の推進 ○市民、学識経験者、NPO、市職員など多様な英知を結集 ○相模原市の地域特性に即した政策研究に取り組む
(2) 組織体制	
設置形態	自治体の内部組織
常勤職員数	4名
うち常勤研究員数	3名
非常勤研究員数	2名
専門性確保に関する特徴	○専門的な知識を有した研究員の採用 ○外部有識者の活用
市民研究員制度	行っている。
庶務体制	研究所内で行っている。
(3)会計	
会計規模 ※人件費・間接費(オフィス賃借料、水道光熱費等)は含まない	
2011年度予算	4,529千円
2010年度決算	11,340千円
2009年度決算	10,260千円
2008年度決算	9,818千円
事業活動収入の主な内訳	—

3 活動動向

(1)活動実績	
現在の研究テーマ	<p>【2011年度】 ○相模原市の人口問題に関する調査研究 ○相模原近郊緑地特別保全地区の植生回復に向けた中長期的な取組みについて ○業務系企業(金融・保険業)に関する調査</p>
過去の研究実績 (成果物ベース)	<p>【2010年度】 ○地図でみる相模原市、町田市のすがた～広域連携を検討・推進するための基礎データ～ ○就職及び居住に関する意識・行動調査報告書 ○相模原市街づくり活動推進条例のあり方に関する調査研究 ○平成17年相模原市産業関連表</p>
	<p>【2009年度】 ○各行政区(3区)の地域特性に関する調査研究 ○相模原市の救急医療体制の連携促進と強化について ○市内家庭部門のエネルギー消費実態と太陽光発電・太陽熱利用機器の普及実態 ○パソコンおよび携帯電話の技術的知識を中心とした情報セキュリティ学習プログラム ○自治体の多言語情報に関する調査～多文化共生社会の実現を目指して～ ○高齢者に関する新たな視点～自由で豊かな高齢者～</p>
	<p>【2008年度】 ○新市地域情報の発掘、収集及び創出と伝達に関する研究 ○相模原市における広域連携のあり方に関する調査研究 ○土地区画整理事業等による経済波及効果の算出 ○新たな市民講座の創造について～学びを活かす仕組みの構築～</p>
	<p>【2007年度】 ○相模原市の地域力に関する調査研究 ○まちづくり事業に関する資金調達方法の研究 ○相模原市の人口増加策に関する研究 ○相模原市における自治基本条例に関する研究 ○私の住宅のエネルギー消費量と二酸化炭素(CO2)排出量削減の可能性について ○児童クラブの入所保留児童に関する実態把握と、今後の需要予測と対応策の提案 ○自閉症者の雇用促進策 ○家族で考える情報セキュリティ ○相模原市における物流施設政策のあり方に関する調査研究 ○相模原市市民経済計算の推計方法に関する調査研究 ○平成17年国勢調査に基づく相模原市の将来人口推計結果～新しい総合計画策定に係る基礎資料～ ○委託業務の調達方法について ○歴史的公文書等の保存・活用について</p>

過去の研究実績 (成果物ベース)	<p>【2006年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相模原市の居住に関する現状と今後の動向 ○さがみはら夢プロジェクト2054 ～市制100周年のまちの姿～ ○清掃工場を母体とするガス化(事業)の検討～未利用バイオマスとごみ発電余剰電力を利用したガス化(事業)の実現に向けて～ ○相模原市における樹林地の分布変遷と保全の意義に関する研究 ○相模原圏域における「健康増進サービス産業の創出」に資するF・S事業の提言 ○ターミナルケアにおける患者の自己決定権と家族の同意 ○政令指定都市相模原にふさわしい教員の採用について ○大学図書館と社会的意義について～相模原市内及び近隣の大学図書館に於ける一般社会人への開放状況に関する調査・考察～ ○「魅力ある図書館づくり」のための考察～アンケート調査報告と魅力づくりへの提案～ ○平成12年相模原市産業連関表による産業連関分析の方法と事例 ○新世紀さがみはらプラン相模原21世紀総合計画 後期実施計画策定に係る将来人口推計結果 ○市民の税負担等及び分配受益の関係に関する研究
	<p>【2005年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○さがみはら夢プロジェクト2054 ～市制100周年のまちの姿～ ○都市内分権モデル事業の研究～住民自治の新しいかたち～ ○市民分権推進母体～高付加価値型スーパー自治会～ ○在宅ターミナルケアシステムの整備についての研究 ○健康と運動・スポーツ ○市内大学の教育機能を活用した新たな生涯学習ネットワークの構築に向けて ○地学(宇宙と地球)学習の現状研究と理科の授業の調査 ○相模原・町田エリアマーケティングデータブック ○相模原経営者意識調査 ○平成12年相模原市産業連関表からみた相模原市の経済構造 ○GIS活用研究プロジェクト ○新世紀さがみはらプラン相模原21世紀総合計画 後期実施計画策定に係る将来人口推計結果
	<p>【2004年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○相模原市における都市内分権に関する研究 ○相模原市の国民健康保健事業の効果分析 ○消防行政 ～委託消防と単独直営消防との比較～ ○相模原市の将来人口について～人口急増都市が人口減少へ～
	<p>【2003年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○都市内分権における自治会のあり方 ○相模原市の樹林と保全計画 モニタリング調査を通じて ○バリアフリー道路の研究「バリアフリーに直らなかった道路の実態と評価、原因調査研究」 ○相模原市における高齢者介護に関する提言 ○「地域情報ネットワーク」の構想 ○統合型地理情報システム導入に向けての考察 ○学校支援と『地域教育力』の向上の可能性を探る「ワンランクアップの公教育を創る」
定期刊行物	—

(2)これまでの重点的・特徴的な調査研究プロジェクト	
ア 調査研究プロジェクト名	新市地域情報の発掘、収集及び創出と伝達に関する研究(20年度まで継続)
イ 調査研究手法等	市民と市職員、学識経験者による協働研究の手法を採用した。また、市民アンケート及びインターネットアンケートを実施した。
ウ 進行管理等	月1回程度の定例研究会を開催した。また、メーリングリストの利用により調査・研究に必要な情報の共有を行った
(3)活動のマネジメント状況	
ア テーマ決定	○組織で自ら発案 ○設置市からの要請
イ 情報発信	○設置市の幹部職員に、報告や提言を行う。 ○関係部署に、報告や提言を行う。 ○庁内の広範囲に、成果物を配布する。 ○報告会を実施する。
ウ 活動の評価とその反映	報告会・アンケート等の機会を設けて、評価を受けている。

4 特記事項

研究員の業務分担	—
研究員の専門性育成の手立て	—
研究員のキャリアパス等	—
その他	—